

気づき、考え、実行する さし人つつしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.14
令和3年10月7日
文責：校長 松野克己

奇跡的な勝負！ 第129回運動会

10月3日(日)は、夏の逆戻りと言えるような快晴となりました。よほど体育主任の日頃の行いがよすぎたのでしょうか……。天気には恵まれましたが、今年度も新型コロナ感染拡大防止として、さらに授業時数確保のために、様々な対策が求められました。

- ・競技数の制限と密にならない内容の工夫
- ・練習時間の短縮
- ・地区テントと家庭用テントの撤去・禁止
- ・来賓招待の自粛とご家族観覧者数の制限
- ・検温と消毒の徹底 など

このような制限を行いましたが、とてもありがたかったのは、子どもたちが何一つ不満を口にすることなく、練習も本番も一生懸命に取り組んでくれたことです。また、炎天下とも言える天気の中で見ていただいたご家族の皆さんにも感謝申し上げます。当日、見に来たくても来られなかった方もいらっしゃいますから、簡単にいくつかの種目を振り返ってみます。



○1年生表現「ダイナマイト」

映画「マダガスカル」のエンディングで流れる「踊るのスキスキ」というインパクトのある曲で入場し、BTSの「Dynamite」を楽しそうに踊りました。跳んだりねたり決めポーズをしたり・・・1年生は多少動きがそろっていませんでしたがかわいらしさでカバーできますね。



○2年生団体「力を合わせて全員リレー」

一人一人が手にペットボトルをもって、これをバトン代わりに使うのかとおもいきや、さにあらず、置いてあるかごの中にペットボトルを投げて、入ったら、次の走者が走り出すという準徒歩的なリレーです。走力というより、コントロール次第で順位が入れ替わる面白さがありました。

○3年生団体「台風の日」

運動会の定番種目です。普通は4人程度で1本の棒を持って走りますが、コロナ対策で2人組、手袋着用で行いました。左右に分かれた2人が交互に中心と円周になるはずですが、中には回り方の怪しい組もありましたね。赤白両方で見られましたから、まあお互い様というところでしょう。

○4年生表現「佐志っ子ソーラン」

これも運動会の定番種目です。手作りのハッピーを着てトラックに沿って並んだ4年生が気合いを込めて踊りました。中には体全体をバネのように動かしてかっこよく踊る子もいました。例年、唐房区の敬老会でも披露して、お年寄りから拍手喝采を浴びるのですが、今年度も敬老会は中止でした。残念です。

○5年生表現「できっこないをやらなくちゃ」

高学年のダンスは恥ずかしがってイヤイヤ踊る子がいるのですが、みんなが練習の時から、とっても楽しそうに踊っていたのが印象的でした。定番だった「組体操」は安全面の理由でできなくなりましたが、ヒップホップ的なダンスやフラッグなど、高学年ならではの新しい種目が増えてきています。

○6年生準徒歩「仲良し親子でレッツゴー」

団体で行った競技を保護者の方にもしていただきました。2本の棒でボールを挟み、トラップをクリアしながらリレーをしていく競技です。単純ではありますが、やっぱり息が合っていないと失敗してしまいます。親子で一緒に遊ぶ機会がめっきり減っていく年頃です。児童以上に、保護者の方にとって思い出となったのではないのでしょうか。

○ブロック対抗応援合戦



紅組応援団



白組応援団

朝、昼休み、放課後と応援団は練習を積み重ねてきました。赤白ともにその成果をしっかりと発揮でき、優劣つけがたい出来映えでした。時間は4分以内と短

縮されたのですが、その分テンポが上がり、内容も従来の応援にこだわらないタイムリーなアイデアが盛り込まれた充実したものに仕上がっており、気持ちのいい応援となりました。

○ブロック対抗リレー

運動会のフィナーレを飾る種目と言えば「リレー」です。紅白それぞれのチーム(ブロック)から選ばれし選手たちがカー杯走り、チーム一丸となって応援する光景は感動を生み出します。ただ、計画段階ではコロナ禍でのバトンの受け渡しの問題となり、前の走者がバトンゾーンに入ったところで、担当の先生が次の走者の肩をたたいた合図で走り出すというやり方を取りました。バトンミスがない分、完全に総合的な走力による勝負です。

タイトルに「奇跡的な勝負」と書きましたが、このリレーで最終得点が決まった結果が、なんと紅組と白組が同点であり、両ブロック優勝という結果になりました。徒競走のわずかに組でも赤白の順位が違えばこの結果は生まれませんから、まさに奇跡といっているのではないかと思います。



来年度は新型コロナは終息していることを心から願います。では終息したら運動会は以前のようなスタイルに戻るかというと、そうは考えていません。授業時数の確保や児童の熱中症対策は今後も必要です。ですから、練習時間を減らし、午前半日での実施は今後も続けていく方向です。また、地区テントを2年続けて設置しませんでした、「視界が開けて見やすい。」「おおよそ好きな場所から見られる。」という前向きなご意見も多いようです。「成果を見せる運動会から、安全第一楽しむ運動会へ!」というのが、これからの運動会のスタンダードなあり方となると思います。

最後になりましたが、除草作業で影から運動会を支えていただいた皆様、検温と消毒作業にご協力をいただいたPTA役員の皆様、運動会終了後にテント撤収や片付けを手伝っていただいた皆様、そして、この運動会の対応にご理解をいただいた全ての保護者の皆様に改めて御礼申し上げます。おかげさまで、充実した運動会となりました。